

第111号

酪農

とちぎ



2月18日購買利用推進女性研修会より
講師：雪印メグミルク 齋藤 浩哉 氏

「キャラクター^{えみ}笑味ちゃん」



みんなのよい食プロジェクト

- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 令和元年乳代集計結果について
- 3～5 ページ 部課だより（指導企画課、購買企画課）
- 6 ページ 部課だより（生乳受託課）
- 7～8 ページ 東西南北（各支所）
- 9～10ページ 農業士紹介、理事会だより、お知らせ、市場成績
- 11ページ 酪農とちぎ機構図
- 12ページ 新型コロナウイルス対策

令和元年乳代集計結果について

1月から12月の乳代集計結果についてお知らせします。

生乳生産実績

令和元年の年間乳量は23万2481tの実績となりました(表1)。平成30年と比較すると100・3%の実績です。ほぼ前年同様と

表1 年間乳量と出荷戸数

	年間乳量(t)	12月出荷戸数(戸)	1戸当り乳量(t/戸)
平成14年	213,002	738	289
平成15年	210,263	722	291
平成16年	213,341	705	303
平成17年	210,244	681	309
平成18年	220,457	653	338
平成19年	217,429	621	350
平成20年	216,870	593	366
平成21年	217,355	570	381
平成22年	206,590	546	378
平成23年	200,643	529	379
平成24年	210,197	521	403
平成25年	214,584	491	437
平成26年	221,612	476	466
平成27年	234,508	461	509
平成28年	237,879	441	539
平成29年	236,444	423	559
平成30年	231,863	409	567
令和元年	232,481	389	598

表2 一頭当り乳量 (kg)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
那須高原支所	9,082.4	9,111.4	9,126.1	9,127.7	9,212.0
宇都宮支所	8,960.0	9,025.7	9,082.7	8,881.6	8,830.0
県南支所	8,457.3	8,659.8	8,675.5	8,526.0	8,650.9
平均	8,918.2	8,997.1	9,017.3	8,958.6	9,033.3
前年比		100.9%	100.2%	99.3%	100.8%

なった要因としては、平成29年の夏における記録的な暑さが挙げられます。夏場に人・牛ともに大きな負担がかかったことで、分娩予定が秋口までずれ込み8月の乳量が大きく落ちる状況になりました。月ごとの日量の推移(図1)をみても、9月以降は徐々に分娩が増

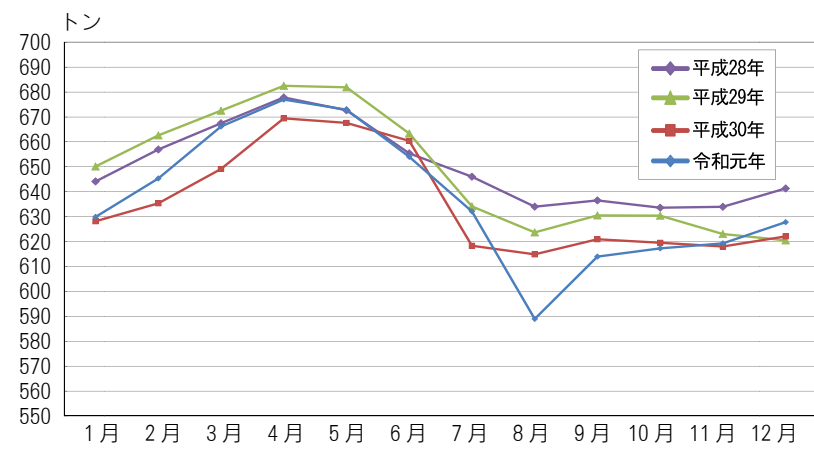


図1 日量の推移

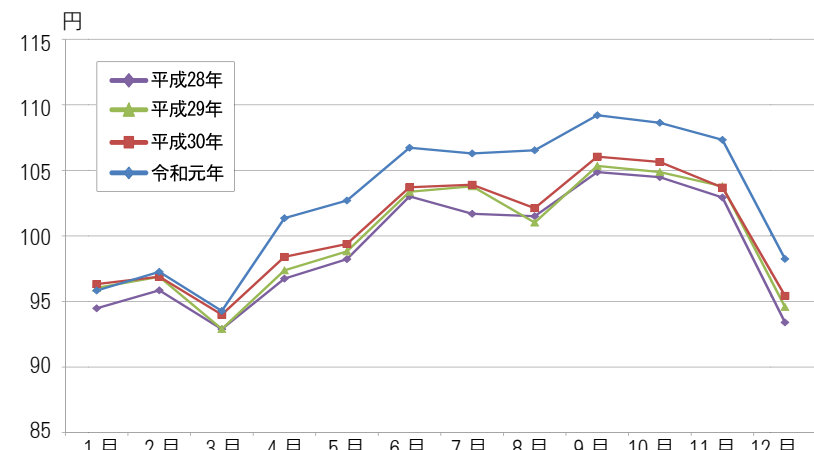


図2 支払乳価 (手数料等控除後、乳質加算前)

乳価

えたことで、前年を上回る日量となったことがわかります。一頭あたり乳量(表2)についても、前年比100・8%となるなど、昨年の猛暑の影響で年間のばらつきは大きいものの、前年並みとなっております。

支払い乳価(図2)は、4月から飲用向け乳価が4円/kgの引き

上げとなり、ほぼ前年を上回る状況となりました。乳代追加払い(事業分量配当、需要期出荷奨励金、需要期優良奨励金、緊急酪農生産基盤強化対策金、乳代精算払い、集送乳業務委託費精算払い)におきましては総額3億2984万円をお支払いし、年間乳量で除すると1・42円/kgお戻しすることができました。



部課だより

指導企画課

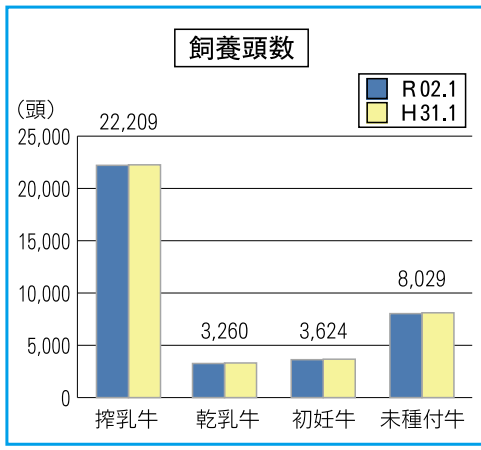
● 乳牛飼養動態調査

1月1日現在での乳牛飼養動態調査の結果がまとまりましたので、ご報告します。

1. 出荷者戸数・飼養頭数について

飼養頭数について

前年1月と比較すると酪農中止は18戸(団体公共を除く)となり、出荷者数は前年同月比4.2%減の387戸となりました。廃業の理由は、高齢や後継者がいない8戸、経営不振2戸、他業種転換4戸、病気療養その他4戸でありました。なお、酪農中止者18戸の廃

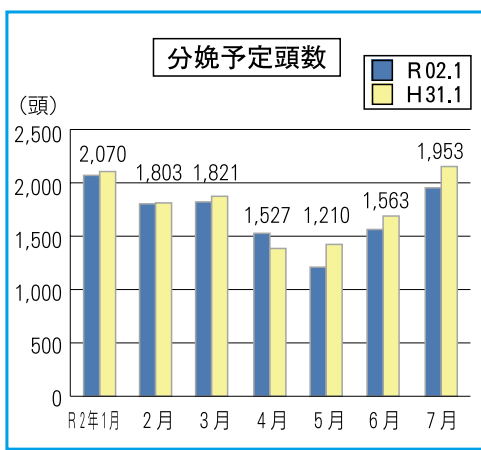


業時の合計飼養頭数は289頭でした。期間中新規出荷者1戸が組合に加入したため、出荷者数は差し引き17戸減となりました。

2. 飼養頭数について

飼養頭数の内訳は、経産牛は前年1月比0.4%減少し2万5469頭、自家育成牛は前年比0.2%増加し8296頭、外部預託牛は前年比4.0%減の3357頭でした。また、1戸あたりの平均飼養頭数は3.5頭増加し、95.9頭で前年に引き続き増加しています。

なお、搾乳牛は前年より0.2%減少し2万2209頭、乾乳牛は1.5%減少し3260頭でした。育成牛(自家・外部預託含む)



乳牛飼養動態調査表

(令和2年1月1日現在)

支所別	調査年月	出荷者数	飼養頭数								合計	育成牛保有率(%)	1戸平均飼養頭数	繁殖和牛経産牛数	月別分娩予定頭数						
			経産牛			自家育成牛		外部預託牛							(カッコ内は内数で判別精液頭数、また下段は平成31年1月の実績頭数)						
			搾乳	乾乳	小計	初妊	未種付牛	初妊牛	未種付牛	1月					2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
那須高原支所	H32.1	242	14,476	2,015	16,491	1,834	3,565	680	1,677	24,247	31.99	100.2	717	1,345 (164)	1,177 (138)	1,211 (149)	993 (114)	822 (82)	1,095 (140)	1,283 (156)	7,926 (943)
	H31.1	251	14,442	1,953	16,395	1,771	3,657	774	1,699	24,296	32.52	96.8	408	1,338	1,177	1,200	924	1,002	1,089	1,329	8,059
	増減	▲9	34	62	96	63	▲92	▲94	▲22	▲49	▲0.53	3.4	309	7	0	11	69	▲180	6	▲46	▲133
宇都宮支所	H32.1	69	2,749	420	3,169	410	1,051	133	432	5,195	39.00	75.3	92	272 (38)	204 (31)	236 (37)	178 (27)	151 (31)	160 (27)	219 (30)	1,420 (221)
	H31.1	71	2,846	434	3,280	444	1,012	176	366	5,278	37.86	74.3	91	256	203	227	154	159	207	290	1,496
	増減	▲2	▲97	▲14	▲111	▲34	39	▲43	66	▲83	1.14	1.0	1	16	1	9	24	▲8	▲47	▲71	▲76
南支所	H32.1	76	4,984	825	5,809	469	967	98	337	7,680	24.36	101.1	54	453 (31)	422 (26)	374 (23)	356 (20)	237 (23)	308 (26)	451 (19)	2,601 (168)
	H31.1	82	4,969	924	5,893	386	1,013	121	361	7,774	24.20	94.8	43	512	432	447	307	262	393	534	2,887
	増減	▲6	15	▲99	▲84	83	▲46	▲23	▲24	▲94	0.17	6.2	11	▲59	▲10	▲73	49	▲25	▲85	▲83	▲286
合計	H32.1	387	22,209	3,260	25,469	2,713	5,583	911	2,446	37,122	31.39	95.9	863	2,070 (233)	1,803 (195)	1,821 (209)	1,527 (161)	1,210 (136)	1,563 (193)	1,953 (205)	11,947 (1332)
	H31.1	404	22,257	3,311	25,568	2,601	5,682	1,071	2,426	37,348	31.54	92.4	542	2,106	1,812	1,874	1,385	1,423	1,689	2,153	12,442
	増減	▲17	▲48	▲51	▲99	112	▲99	▲160	20	▲226	▲0.15	3.5	321	▲36	▲9	▲53	142	▲213	▲126	▲200	▲495



の保有率は、0・15%減少し31・39%で合計1万1653頭となりました。

3. 分娩頭数について

2019年7月までの分娩予定頭数は、前年同時期分娩実績に比べ495頭減少し1万1947頭となっています。全体的に前年の分娩実績より少ない分娩となる見込みで、前年実績より分娩数が多いのは4月(前年同月比10・3%の増加)のみとなっています。その他の月は平均6・1%の減少、最大減少幅は5月の15・0%減少の見込みです。

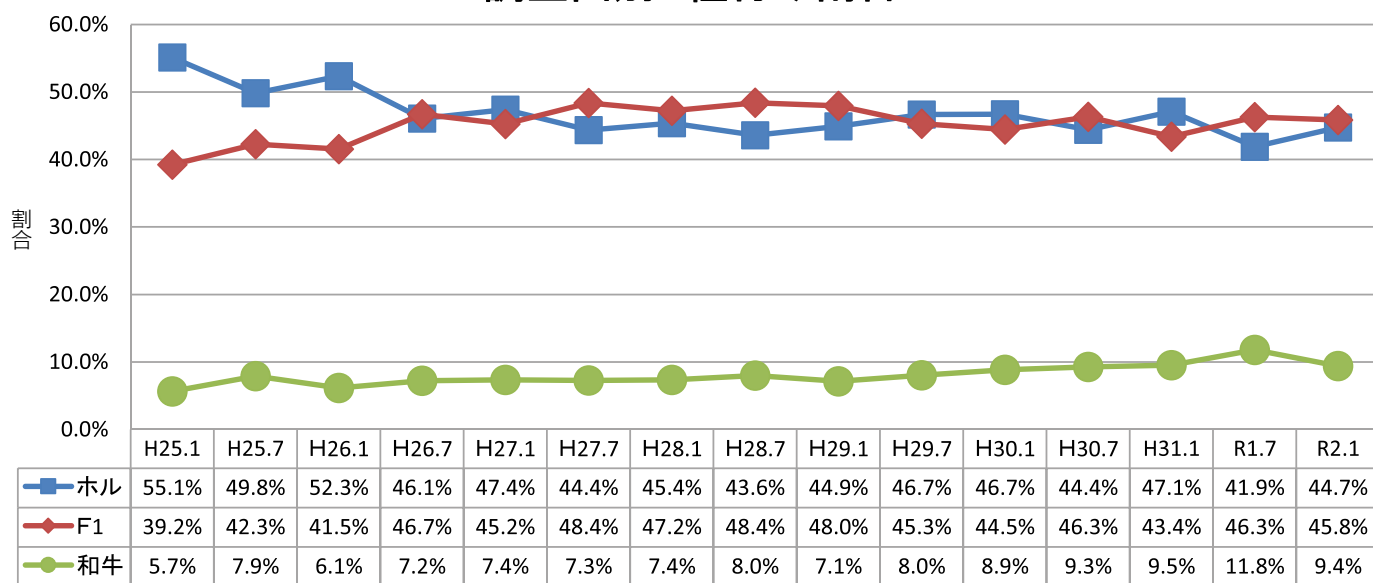
全体的に分娩予定頭数の落ち込みが発生していることから暑熱による影響だけとは考えにくく、飼養頭数も減少傾向にあることから、生産基盤の弱体化が懸念されます。令和2年度上期の乳量動向は、経産牛頭数の減少や春先に向けた分娩数が昨年より少ないことも踏まえ、微減で推移するものと思われる。ただし、外部導入予定が1300頭弱あるため、予定通り導入され事故なく搾乳されれば減少幅を抑えることが可能と思われます。

4. その他

平成25年1月調査から、今回の調査までの全15回分の、畜種別種付け動向をまとめましたので、お示しします。

令和元年7月から令和元年12月の品種別分娩実績は、ホル種は前回(平成31年1月調査)より0・5%減少し5619頭(分娩実績構成比44・7%。以下同じ。)となり、交雑種は10・7%増加し5758頭(45・8%)となりました。また、和牛ETについては3・5%増加し1183頭(9・4%)となりました。令和元年7月調査から和牛の種付け割合が減少し、ホルスタインのそれが増加しました。生産基盤を維持拡大するために、ホルスタインの種付け割合の増加が期待されます。

調査回別 種付け割合



購買企画課

令和元年度

購買利用推進女性研修会

去る2月18日、ホテル東日本京都宮に於いて総勢180名の参加のもと、令和元年度購買利用推進女性研修会が開催されました。

今回は、長野冬季オリンピック団体ラージヒル金メダリストの齋藤浩哉氏をお招きし「ジャンプ競技から学んだこと」という演題で講演会を開催いたしました。

齋藤浩哉氏は、スキージャンプの盛んな北海道余市町の出身で10歳からジャンプ競技を始め、雪印乳業(現・雪印メグミルク)に入社されました。

講演では、長野オリンピックのジャンプの映像をスクリーンに映し、本人の解説をいただいて臨場感たっぷりに当時の映像を振り返りました。一番盛り上がったのが、三番手でジャンプをした原田氏の失敗ジャンプの映像でしたが、齋藤氏によるとジャンプの瞬間に不利な風が吹き、原田氏でないとあ

そこまで飛べていないとの裏話まで聞かせていただきました。

また、長野オリンピックの金メダルをお持ちいただいて、写真を一緒に撮らせていただき、大盛況の講演会となりました。

その後の懇親会は、組合長、各メーカー代表の方々からの挨拶に続き、副組合長の音頭による牛乳での乾杯で開宴となりました。

しばしのご歓談とお食事の後は、「メインイベント」(！) 皆様お楽しみのお抽選会です。当選した方の番号とお名前が呼ばれると、ご本人と近隣からは喜びと羨望の歓声が沸き起こり、会場がひとときわ盛り上がりました。

今回も沢山の笑顔の中、無事に開催出来ました事、心より御礼申し上げます。

また、購買事業につきましても皆様のご意見・ご要望にお応えできる様、一層努力して参りますので今後共よろしくお願い致します。



雪印メグミルク 齋藤浩哉氏による講演



長野オリンピックの金メダル



当選おめでとうございます



◀金メダリストと一緒に記念写真！

生乳受託課

令和2年2月度の組合生乳生産量は、1万8988t(前年比101.6%)と暖冬の影響等もあり11月度以降4か月連続の前年越えとなりました。各支所の受入乳量は、那須高原支所1万2406t(前年比101.4%)、宇都宮支所2411t(同100.7%)、県南支所4170t(同102.2%)となり、出荷者数は、前年同月より20戸減の384戸(内、学校は1校)となりました。

2月度の組合平均乳質は、脂肪率3.89%(前年差▲0.04%)、無脂固形分率8.86%(同±0.00%)、体細胞数20.41万(同+0.78万)と生乳生産の伸びもあり無脂固形を除き昨年を下回る成績となりました。

関東生乳販連の2月総受託乳量は8万4168t(前年比97.6%)と32ヶ月連続し前年を下回る状況となりました。

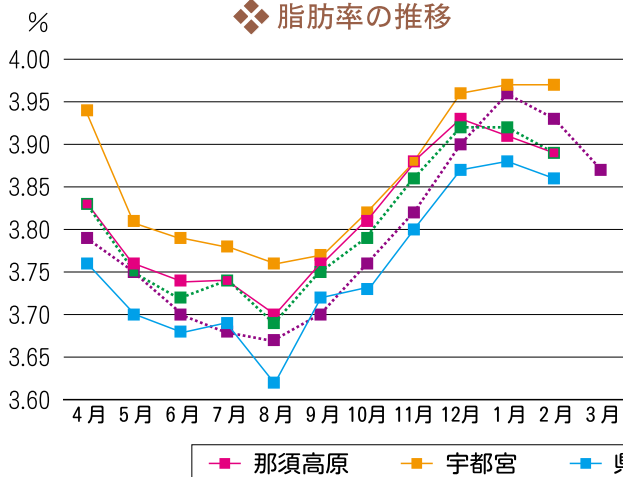
用途別販売数量は、はっ酵乳向けが101.2%と好調を維持しましたが、飲用牛乳向は学乳供給日数の減もあり96.8%に留まったこともあり、脱粉・バター等向けが104.0%と増加しました。2月の全国の生産量は、北海道が前年比103.1%と12ヶ月連

続前年を上回り、都府県は98.5%と53ヶ月連続前年割れ、全国が生産量は101.1%と4ヶ月連続前年を上回りました。
(注)前年比はいずれも閏年修正後
尚、令和2年2月の生産量・乳質、関東生乳販連の用途別販売数量は別表のとおりです。

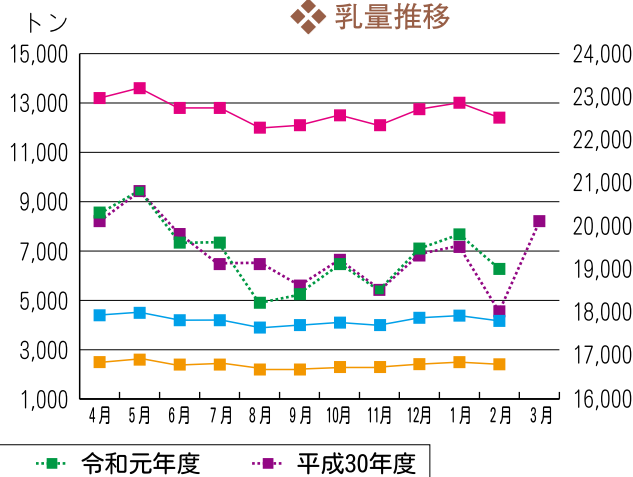
令和元年度 関東生乳販連用途別販売数量 (単位: kg・%)

用途	2月期実績	前年同期実績	前年比		2月末実績(累計)	前年同期実績	前年比	
				閏年修正				閏年修正
飲用牛乳向け	64,759,507	64,592,533	100.3	96.8	726,096,337	749,124,983	96.9	96.6
(うち学校向け)	10,964,285	11,460,894	95.7	92.4	107,952,372	109,937,918	98.2	97.9
はっ酵乳向け	11,554,562	11,028,657	104.8	101.2	137,321,617	135,751,420	101.2	100.9
脱粉・バター等向け	6,657,875	6,179,928	107.7	104.0	63,724,890	66,112,860	96.4	96.1
(うち委託加工向け)			-	-			-	-
生クリーム等向け	1,134,878	1,364,927	83.1	80.3	13,554,159	15,409,128	88.0	87.7
チーズ向け	61,316	58,593	104.6	101.0	706,365	703,623	100.4	100.1
全乳哺育向け			-	-			-	-
総受託乳量	84,168,138	83,224,638	101.1	97.6	941,403,368	967,102,014	97.3	97.1
脱粉・バター等向け比率	7.91	7.43	-	-	6.77	6.84	-	-

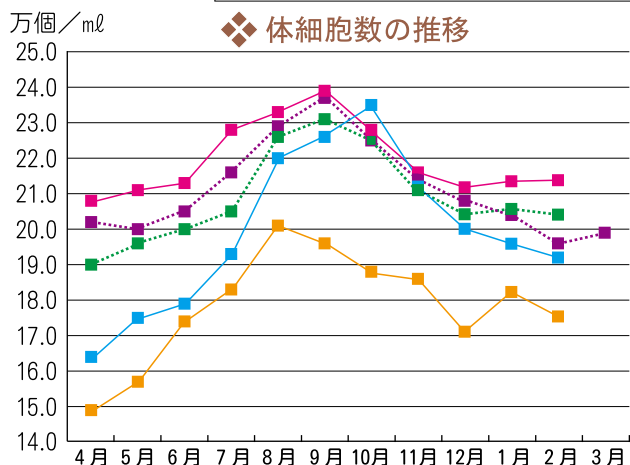
◆ 脂肪率の推移



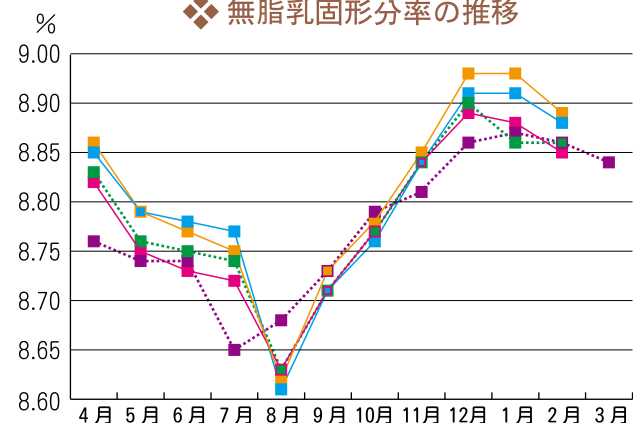
◆ 乳量推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



東西南北

那須高原支所

ボウリング大会120名参加!

2月6日、那須高原支所活動推進協議会(藤田一義会長)主催による第18回ボウリング大会が、黒磯ボウル(那須塩原市)及び王冠ボウル(大田原市)の2会場において開催されました。

当日は、組合員とその家族・スタッフなどが参加し、ストライクやスペアなどを取ると握手やハイタッチなど、和やかな雰囲気の中で2ゲームが行われ、各会場・各



お楽しみ!恒例のボウリング大会



皆さんお疲れさまでした

レーンともに楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

終了後は、榊原会館に会場を移し懇親会が行われ、臼井組合長より酪農情勢を含めた挨拶をいただき、懇親会が行われました。会場内では、近況等情報交換をしながら、おいしい食事をいただき、各テーブルから笑い声が絶えない懇親会となりました。

表彰式では、関係団体から協賛して頂いた沢山の賞品が入賞者に贈られました。懇親会も大盛況のうち閉会となり、参加された方は明日への活力に繋がる楽しい一日となったことと思います。

なお、各部の優勝は次の通りです。

団体の部 優勝 高林支部

準優勝 くろいそ支部

第3位 高久班

個人の部

●黒磯ボウル

男性 室井 謙一(高林支部)

女性 人見 礼子(高林支部)

●王冠ボウル

男性 後藤 裕樹(塩西地域)

女性 中村 典子(塩西地域)

『青年部大田原支部 視察研修を実施』

2月13日~14日、青年部大田原支部(福田隼人支部長、4名参加)で東京方面へ視察研修を行いました。初日は、練馬区にある23区内唯一の牧場、小泉牧場40頭つなぎ牛舎での飼養体系、(酪農教育ファーム認証牧場)を訪問しました。都

会の住宅街に立地する牧場を見学し、参加者からは近隣住民との付き合い方について、熱心に質問が寄せられました。小泉氏も高度経済成長に伴う住宅増加により、一度廃業を考えたそうです。営農を続けられた最大の理由は、近隣小学校による見学などを通じて、周囲の協力を得られたからとのこと。そのおかげがよく地域の人々が牧場を訪れるそうで、視察時も親子連れが来ており、近隣住民の憩



小泉牧場にて

いの場となっているようでした。この牧場視察により牧場内周辺の環境整備等の気づかいに参加者一同衝撃を受けた視察となりました。

二日目は都内にて観光を楽しみました。まずはお台場ダイバシオン(お台場)へ向かい、お土産購入。ここには、垂涎もののガンダムグッズが並ぶ専門店があり、ファンにとっては聖地のような場所になっているようです。次に築地場外市場へ向かい、新鮮な魚介類に舌鼓を打ちました。市場は豊洲へ移転しましたが、活気があふれ、にぎわいを見せておりました。帰路につくころには、みなさん心もお腹も満たされ、十分に羽を伸ばせるひと時となったのではないのでしょうか。



宇都宮支所

「宇都宮支所管内行事」

令和最初の新年は、天候にも恵まれ暖かな、そして何よりも静かな正月からのスタートでした。

各地域及び支部酪農組合の新春懇談会も、参加された皆様方から「昨年は自然災害に見舞われた一年でしたが、今年は正月から穏やかな天候に恵まれ、この一年を無事に過ごせるように。」との声が多く聞かれました。

また女性会及び青年部各支部におかれましても、同様に新たな年を皆で喜んでのスタートとなりました。

しかしその状況が一変したのは確か1月末のころだったと思います。

「COVID19」（新型コロナウイルス）による感染症拡大懸念により、組合事業はもとより、各支部等でも事業が延期もしくは中止等が余儀なくされました。

残念ながら現段階で中止となった行事は次の通りです。

- ・ 宇都宮支所活動推進協議会第2回全体研修会
- ・ 宇河今市地域酪農組合研修会
- ・ 女性会那須南支部後継者の会
- ・ 宇都宮市酪農組合バーベキュー大会

県南支所

女性会2支部が

「ギャザリング」で親睦交流

2月12日、毎年恒例となっている女性会芳賀支部（小林峰子支部長）及び女性会河内南部・下都賀支部（坂本三枝子支部長）の交流会を、県南支所において33名参加のもと開催しました。

今年度は、県内にまだ3名しかいないギャザリストであるフロリガデーナー瀬沼さん^{せぬまさん}を講師に迎え、「ギャザリング」を講習しました。ギャザリングとは、根付きの植物を花束のように組み合わせる植え込む、新しい寄せ植えの手法です。



花束の様な「ギャザリング」作品と共に



可憐で豪華

植え込んだ時から美しく、豪華で華やか。植えた後もゆっくりと成長し、数か月美しさを保つので、

育てる楽しみも味わえます。

当日は、先生指導のもと作成が始まりましたが、新しい手法にも関わらず、参加者の皆さんの作品があっという間に作り上げられ、その手際の良さに先生も驚いていました。最後に、先生に少し手直しをして頂き完成。その出来栄えに、満足された様子でした。

普段は別々に活動をしている2支部ですが、楽しく歓談しながら、潤いに満ちた時間を過ごせたことと思います。

大内飼料給与研究会の活動と歴史

2月27日、真岡市の高橋剛牧場にて、大内飼料給与研究会「最後の定例会」が行われました。

当研究会は、昭和59年に高橋平治氏を会長として発足し、37年間活動を行って参りました。会員数は、最大で20名が在籍。近年は少人数となりましたが、会員をはじめ



県南支所での検討会

ることで、最後に、事務局としても研究会活動を通して成長させて頂き、本当に有難うございました。

め齋藤顧問や組合職員と共に和気あいあいと活動し、研鑽を深めて参りました。活動内容としては、会員の牧場を定期巡回し、現場でのバーンミーティングを実施。その後、県南支所に移動し乳検・血液検査・飼料給与内容等を基に牧場の現況を分析し、改善についての検討会を行ってきました。

本日に歴史ある組織でありましたが、高橋会長の勇退をもって研究会活動に幕を下ろす運びとなりました。会長に気持ちを聞き取り、このからの担い手の方々に、地域酪農を活性化して貰いたい」と話されていました。その想いは、十分に後継者に伝わっていることでしょう。

名誉農業士・ 農業士認定者紹介

令和元年度農業士・名誉農業士認定式が1月9日栃木県公館で行われ、農業士11名、女性農業士2名、名誉農業士22名が新たに認定されました。

本組合からは、長年にわたり農業の振興に尽力された次の5名の方が認定を受けました

名誉農業士

遠藤 清志さん（那須町）

（配偶者 遠藤 敬子さん）

佐藤 綾子さん（那須塩原市）

榎山 政義さん（那須烏山市）

農業士

大関 一男さん（那須塩原市）

（配偶者 大関 和江さん）

黒尾 賢一さん（那須烏山市）

（配偶者 黒尾 涼子さん）

今回認定された皆様には、心よりお祝い申し上げます。

又、農業社会における農村地域発展の為に更なるご活躍をお祈り申し上げます。



榎山政義さん



佐藤綾子さん



遠藤清志さんご夫妻



黒尾賢一さんご夫妻



大関一男さんご夫妻

理事会だより

12月度理事会（12月27日）

報告事項

- (一) 組合員の加入について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 年末手当について
- (五) 義援金について
- (六) 組合プール乳価について
- (七) 生乳生産管理チェックシート
- (八) 記帳・記録状況について

協議事項

- (一) 11月度事業実績について
- (二) 組合と理事との契約について
- (三) 固定資産の取得について

1月度理事会（1月31日）

報告事項

- (一) 組合員の加入について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合と理事との契約について
- (五) 組合プール乳価について

- (六) 特別管理未収金の報告について
- (七) 乳牛飼養動態調査結果について
- (八) 子会社の第3四半期事業実績について
- (九) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 12月度及び第3四半期事業実績について
- (二) 第19回酪農まつりについて
- (三) 組合と理事との契約について

2月度理事会（2月28日）

報告事項

- (一) 組合員の加入について
 - (二) 業務経過報告について
 - (三) 組合資金貸付について
 - (四) 組合と理事との契約について
 - (五) 組合プール乳価について
 - (六) 役員報酬審議会答申について
 - (七) 関東生乳販連情報について
- 協議事項**
- (一) 1月度事業実績について
 - (二) 令和2年度生乳需給安定化対策方針について
 - (三) 令和2年度生乳出荷奨励実施要領について
 - (四) 令和2年度配合飼料・粗飼料及びTMR飼料供給量別利用奨

- (五) 励措置について
- (六) ヘルパー利用料金及び給与の改正について
- (七) 診療事業技術料金の改定について
- (八) 定款の一部変更について
- (九) 組合と理事との契約について
- (十) 固定資産の取得について（追認）
- (十一) 役員（全域理事1名）候補者の選出について

お知らせ



《組合員資格確認のお願い》

組合員の皆様の組合員資格に變動が生じた場合は、定款第14条の定めるところにより、書面にて当組合にお届けいただくことになっております。組合員資格に變動があった場合は、お手数ですが当組合の管轄支所宛に組合員資格の變更をお申し出いただけますようお願いいたします。

※組合員資格の変動

● 組合員資格喪失、氏名・住所の變更等

● 正組合員から准組合員又は准組合員から正組合員に資格が変動した場合等

《第19回酪農まつり》

開催の中止について

4月11日(土)開催予定の「第19回酪農まつり」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の為、開催を中止とさせていただきます。

《職員人事》

定年退職者（3月31日付）

総務部長

増子 剛康（再雇用）

経済部生乳受託課検査室長

國井 信夫（再雇用）

県南支所業務推進課係長

古谷野静子

退職者（3月31日付）

業務部次長兼務診療課長

吉成 正晴

新規採用者（4月1日付）

阿美 真衣

北村 竜輝

田中 いら

野澤 賢史

定期異動（4月1日付）

「酪農とちぎ機構図」のとおり

2月度 ホクレン初妊牛市場成績（単位：千円（税込））

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	（そのうちET牛）		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
十勝	2月5日	777	559	71.9%	831	104	81	1,016
根室	2月6日	450	359	79.8%	835	26	22	1,047
豊富	2月13日	319	276	86.5%	827	9	6	936
釧路	2月18日	364	248	68.1%	770	10	7	933
十勝	2月19日	660	582	88.2%	821	77	61	987
北見	2月20日	422	324	76.8%	832	13	8	967
合計		2,992	2,348	78.5%	819	239	185	981
前月		2,259	1,903	84.2%	832	165	145	979
前年同月		3,033	2,527	83.3%	952	269	213	1,067

初妊牛の今後の動向は6～7月分娩が中心となります。初妊牛相場は年末を底として、ゆるやかな上昇基調に入っています。これは春分産乳が上場シーズンを迎え引き合いが強くなったことや、北海道内外の大規模経営体からの引き合いが強くなっている事が影響しているものと思われます。今後は夏分産乳が多く上場される事から相場の下げ要素はあるものの、補助事業による引き合い強化も予想されるため概ね堅調で推移するものと思われま。導入を希望される方は腹条件・分娩月によって手配に時間がかかることも予想されますので、十分余裕をもってのお申込みをよろしくお願い申し上げます。

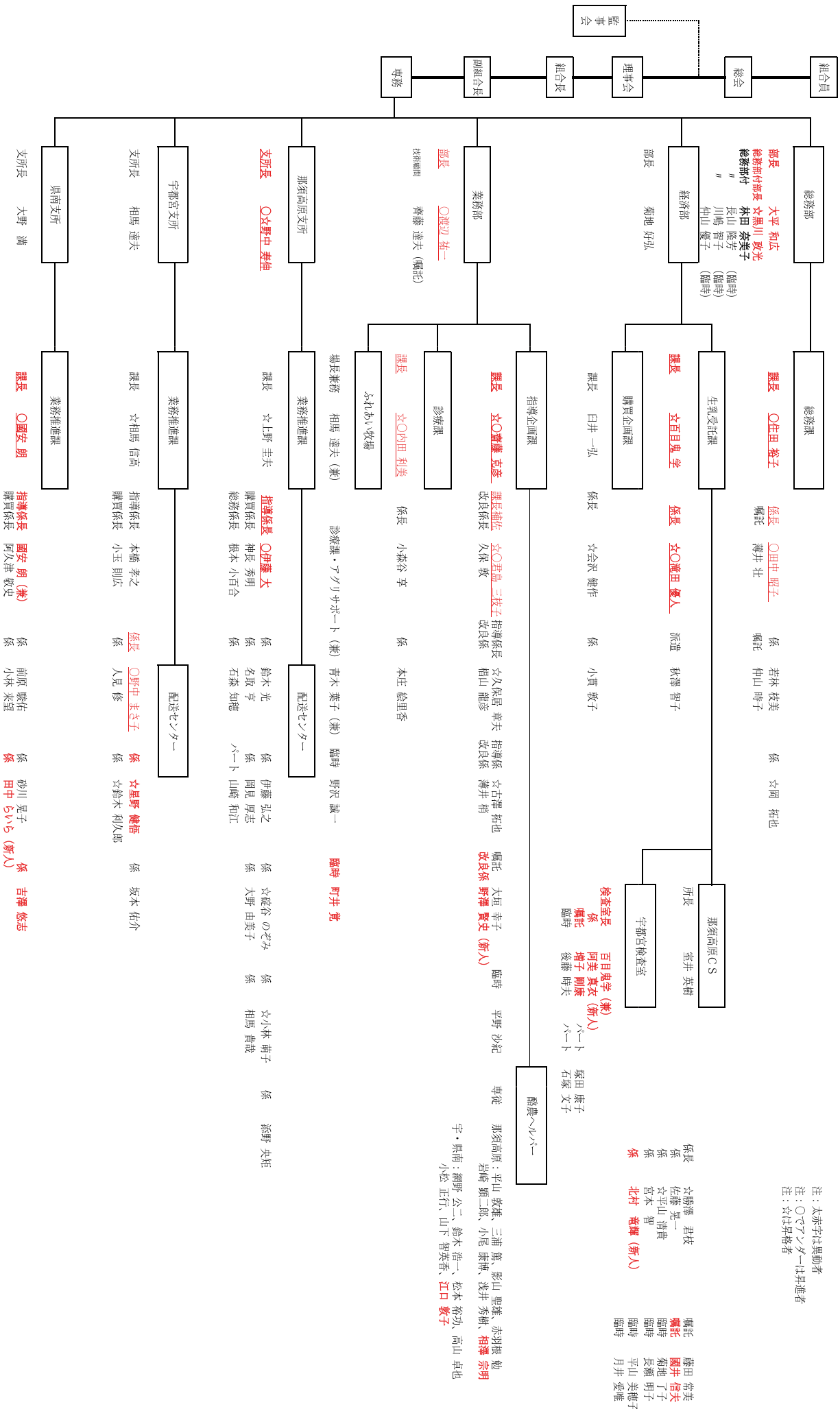
2月度 県内家畜市場成績（単位：円（税込））

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比	
那須(2/25)	ホルス雄	83	63	187,000	16,500	97,953	▲2,275	
	F1雄	82	67	313,500	38,500	226,721	7,486	
	F1雌	72	63	291,500	99,000	183,990	3,379	
館林(1)	ホルス雄	館林市場は2019年12月17日をもって閉場となりました。						
	F1雄							
	F1雌							

今回の初生牛取引価格は前回から比較し、ほぼ横ばいで推移しています。しかしながら年末からの値下がり基調は変わらず、2月5日のF1雄の平均価格は年度最安値（205千円）であると共に、過去3年間でも最安値となりました。F1雌相場も概ね同様の動きを見せています。例年春から夏にかけて相場は上昇傾向に続くため、現状の水準よりは上昇することが予想されますが、昨年同時期ほどの回復は見込めないものと思われま。



酪農とちぎ機構図(令和2年4月1日着任)



注：太赤字は異動者
 注：○でアンダーは昇進者
 注：☆は昇格者

那須高原：平山 敦雄、三浦 篤、影山 聖雄、赤羽根 勉
 岩崎 頭二朗、小尾 康博、浅井 秀樹、相澤 宗明
 宇・県南：細野 公二、鈴木 浩一、松本 裕功、高山 卓也
 小松 正行、山下 智英香、江口 教子



新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルスの人への感染拡大を防止するため

消毒を徹底してください。

◎感染拡大のリスクに対する対策

- 公私を問わず、人混みを避け、手洗い（手指の消毒）、咳エチケット、閉鎖空間の定期的な換気・消毒等の実施。
- 不要不急な外出は避ける。

※以下の症状がある場合、最寄りの保健所等にある「帰国者・接触者相談センター」に電話で相談（※）しましょう。

- ①風邪の症状や**37.5度以上**の熱が**4日以上**続くとき。
- ②強いだるさや息苦しさがあるとき。
- ③重症化しやすい**高齢者や基礎疾患がある方、妊婦さん**は上記の状態が**2日以上**続くようなら早めに相談しましょう。

消毒の徹底

必要な箇所を、適切な方法で消毒をしてください。

消毒箇所

頻繁に**手が触れる場所**

（ドアノブ、スイッチ類、手すり、水道の蛇口、農機具など）

※牛舎の壁面、通路等は特に消毒する必要はありません。

消毒方法

アルコール消毒液（70%以上）又は**次亜塩素酸消毒液（0.05%）**を浸したペーパータオル等で**拭き取り清掃**を行ってください。

※室内での噴霧は健康被害につながるため行わないでください。

※次亜塩素酸消毒液を扱う際には、手袋着用など十分に注意して行ってください。

（※）宇都宮市保健所：☎028-626-1102

県西保健所：☎0289-64-3125

県南保健所：☎0285-22-0302

県東保健所：☎0285-82-3321

県北保健所：☎0287-22-2257